

福井県内科医会学術講演会 (2024.6.1 17時50分～18時50分)

特別講演 I 「福井県循環器病対策推進計画と心疾患治療」

座長 坪川内科循環器内科医院 坪川俊成

演者 福井大学医学部 病態制御医学講座 循環器内科教授 茅田 浩 先生

この講演では、前半は、福井県循環器病対策推進計画と現状や活動内容のお話であった。脳卒中、心臓病その他の循環器病 1 (以下「循環器病」) が、死亡原因や要介護状態となる原因の主要なものとなっていることに鑑み、「健康寿命の延伸等を図るための脳卒中、心臓病その他の循環器病に係る対策に関する基本法」が 2018 年に成立、2019 年に施行されたことに基づいて「循環器病対策推進基本計画 (以下、基本計画)」が策定され、この基本計画を基に 2021 年から都道府県ごとに地域実情に合わせた具体的な計画が作成され、実行されている現状が示されていた。そこで、福井県でも第 2 次循環器病対策推進計画 (令和 6～11 年度) が策定され、循環器病対策の推進を図るための方針となっている。なお、2023 年厚生労働省が公募した脳卒中・心臓病等総合支援センターモデル事業に採択されたことを受け、福井大学医学部附属病院内に脳卒中・心臓病等総合支援センターが設置されており、患者さん・ご家族の方に対する支援はもちろん、地域の皆様への情報提供、普及啓発、研修会、勉強会の開催など、脳卒中や心臓病に関する包括的な支援を行なっていることが報告されていた。また、先生からは、現センターの存在・周知度や活動に関するいくつかの課題のご指摘もあり、その対策法や適切な医療連携の枠組みを作ることの重要性などの提言がなされていた。

後半部分は、最近の循環器疾患の治療 (技術) に関する話題であった。ICD や CRT-D の効果とその適応について大変分かりやすいご説明があった。また、心房細動への心筋焼灼術のトピックスとして、Pulse field ablation の話題を挙げられており、大変興味をもって拝聴すると、従来の熱エネルギーを介するアブレーション法と比較して、コンタクトフォース非依存性、心筋に対する高い組織選択性、障害組織の細胞外基質が保たれる組織学的特、効果確認の速さなどアブレーション治療にとって魅力的な特性を有すること治療であることが示されていた。さらに、患者背景や lead 感染や手技時間の観点から、完全皮下植え込み型除細動や lead less ペースメーカーが承認され、その利点や適応症例についてご教授頂き、今後、対象症例が増えていくことが予想された。最後に、超重症心不全に使用することがある経皮的デバイスとして IMPELLA のお話があり、開胸せずに経皮的に挿入できる補助循環用ポンプカテーテルであり、必要時には迅速かつ低侵襲に挿入することが可能で、循環補助に加えて、心負荷軽減・心機能回復が期待できる手段があることが理解できた。

前半の話題について、循環器疾患は、特に再発予防や増悪予防が課題と指摘されており、かかりつけ医としても、福井県循環器病対策推進計画に関する活動にも積極的に参加し、その一躍を担えたいと考えている。また、後半の治療に関しては、今回ご教授頂いた最新の医療技術の提供ができるような橋渡しをしながら、基幹病院の先生方と適切な医療連携を図っていきたい。

坪川内科循環器内科医院 坪川 俊成